

# 省エネルギー 学習会

**今、省エネルギーの取組がますます重要となっています。  
省エネルギーについて楽しく学ぶ学習会を開催します。是非参加ください。**

環境空間は、地球環境—地域環境—都市環境—建築環境—体内環境と狭まってきました。2 月度は地球環境の大气・海洋の大循環を学びました。今回は都市環境について学びます。教材は放送大学「都市・建築の環境とエネルギー」(梅干野 晃：東京工業大学名誉教授)を使用します。当学習会では、建築環境(人間と環境・エクセルギーで読む環境づくり)、体内環境(細胞・DNA)まで進めたいと考えております。

## <第 152 回 省エネルギー学習会>

- 1, 日時=2020 年 3 月 6 日(金曜日) 13:30~16:00
- 2, 会場=流山市生涯学習センター(3F)大会議室  
<http://nagareyama-shougaigakushucenter.jp/access.html>
- 3, 内容=a:都市・建築を環境とエネルギーから考える(第 1 章)
  - ・宇宙から見た都市
  - ・生活空間としての都市環境(地球環境問題の縮図)
  - ・建築外部空間に着目・街づくりに向けて(都市生活と空間)b:生活空間の熱環境(第 4 章)
  - ・人体の熱平衡と熱的快適性(快適性を規定する要素)
  - ・建築外部空間の熱環境(熱画像による可視化)
  - ・人工排熱について(空調機・自動車などによる排熱)
  - ・建築の冷房とヒートアイランド現象(大気を直接暖める要因)
- 4, 定員=30名(定員に達した場合は締切ります)。
- 5, 申込 =平手 彰(Tel・Fax 04-7155-1073)  
E-Mail [best.ecohouse@gmail.com](mailto:best.ecohouse@gmail.com)

主催	: 省エネルギー学習会
実施	: 温暖化防止ながれやま(略称OBN)

## <次回予定>

日時=4月3日(金) 13:30~15:30

会場=流山市生涯学習センター(3F)第4会議室

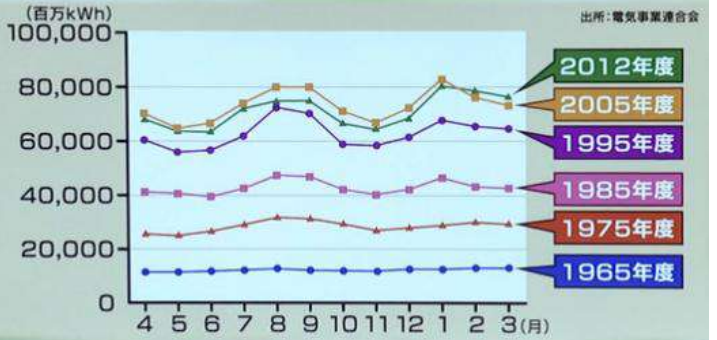
内容=未定

地球表面の被覆状況

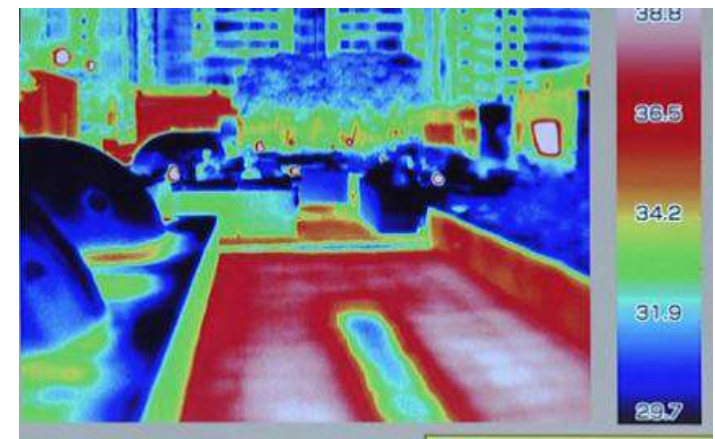
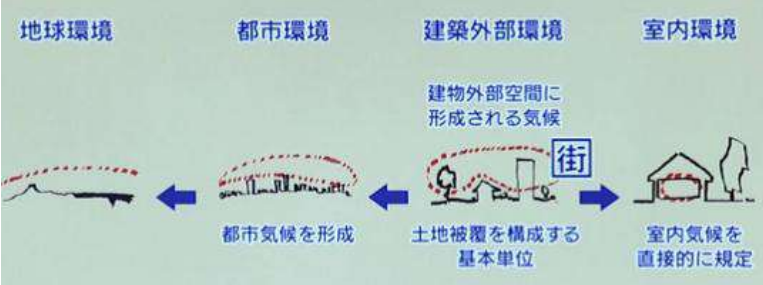
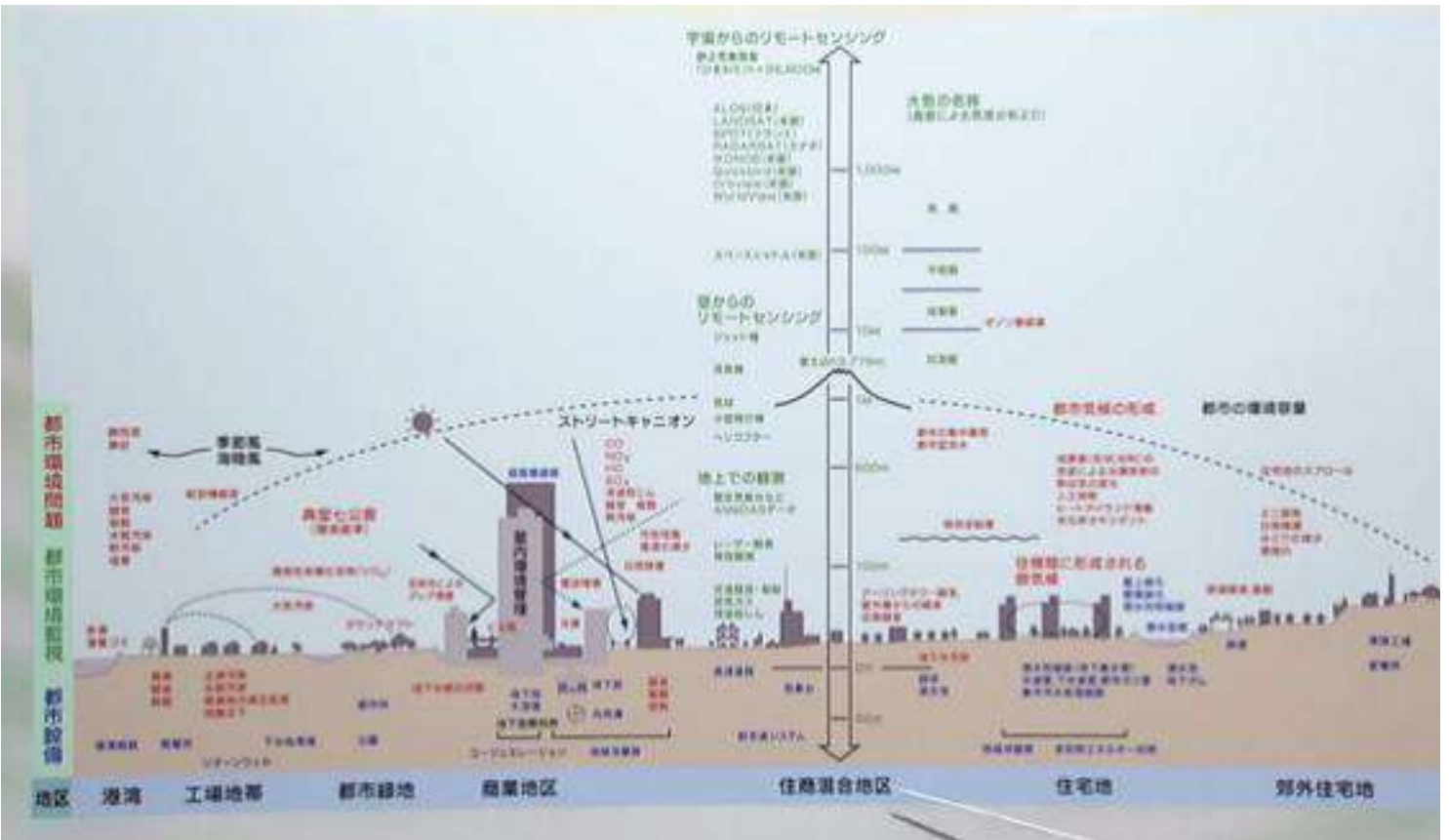


出典:リモートセンシング技術センター

電力量・月変動の年度変化(10電力会社合計)



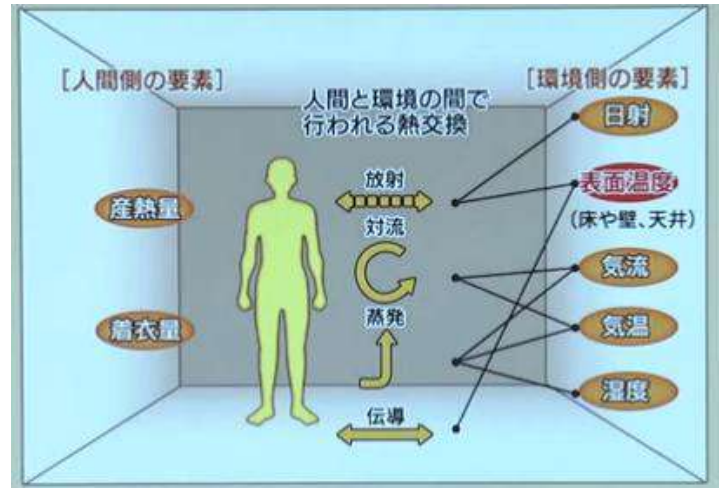
出所:電気事業連合会



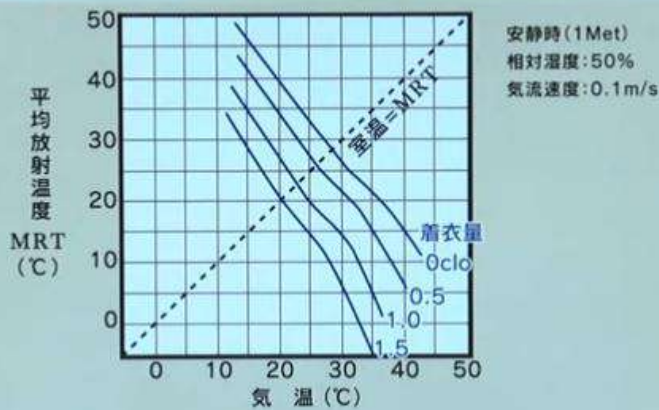
## 人体の熱平衡式

$$M=R+C+E+D$$

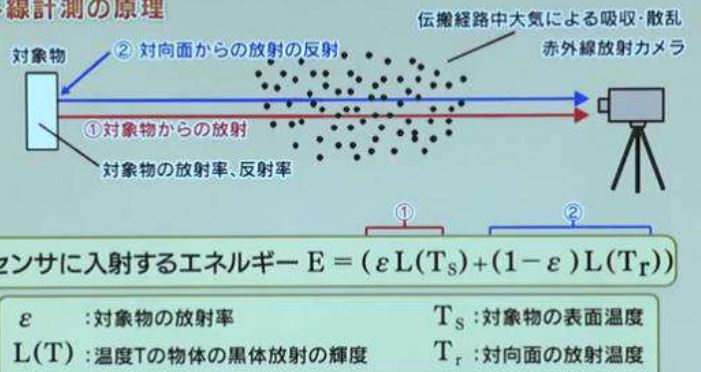
- M : 体内で生産される産熱量
- R : 人体と周囲との間の放射による放熱量
- C : 人体と空気との対流による放熱量
- E : 発汗などによる人体からの蒸発による放熱量
- D : 床などとの伝導による放熱量



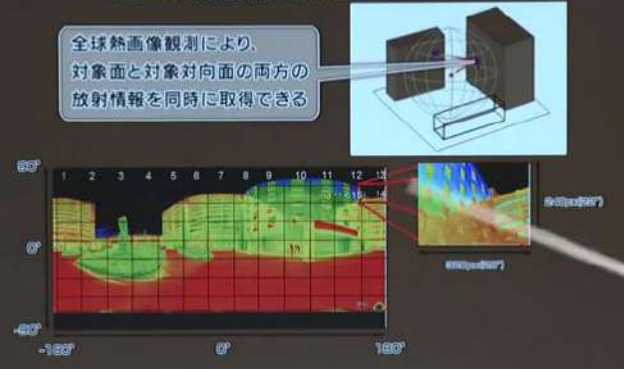
## 熱放射の影響



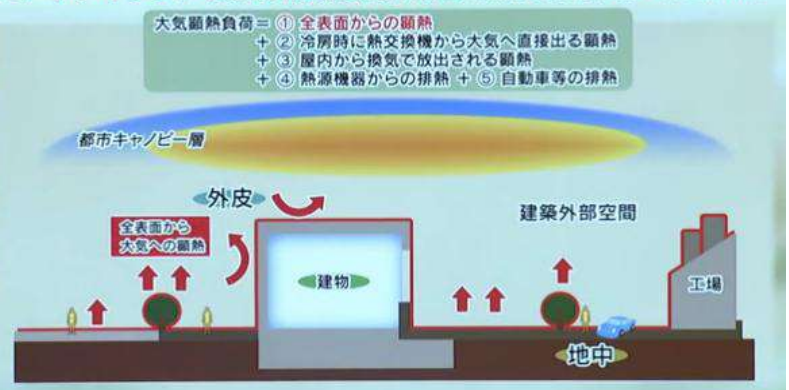
## 赤外線計測の原理



## 全球熱画像収録システム



## ヒートアイランド現象の形成要因 大気を直接暖める要因(大気への顕熱負荷)



## ヒートアイランド現象の形成要因 大気を直接暖める要因(大気への顕熱負荷)



## ヒートアイランド現象の形成要因 大気を直接暖める要因(大気への顕熱負荷)

